

●同志社大学でボランティア関連の世話係をされる方から連絡が来ました

里山農園（丸山の草刈り）でのボランティアの件、学生から、希望日を確認したところ、下記のように状況でした。12月6日（月）、7日（火）、8日（水）、9日（木）、10日（金）のいずれか、2日間活動できればとのことでした。時間は午後からで、13時～16時、または14時～17時あたりでいかがでしょうか。早く日が暮れてくことを考えると、13時～16時が良いかもしれませんね。各日10人程度が参加し、別々の学生に参加してもらうことになるようです。全員で200人ほど所属しており、できるだけ多くの学生に活動参加してほしいと考えているとの窓口になっている副将の学生から聞いています。大学からバイク等でうかがう学生もいるようですが、駐車スペース等お借りすることは可能ですか？調整よろしく願いいたします。

●同志社大学からボランティアの申し込みがありましたので事務局会議で検討した結果

目的として ①冬を迎え茂っていた草が枯れ始めたので除草を行うこと ②農園に来る子供達が丘に登り高さを実感してもらえ施設にすること ③ひと昔前の台所に必須であった磨き砂の役割を学ぶ場所作り ④農園のシンボルづくり ⑤里山農園の回遊通路づくり ⑥創意と工夫を発揮していくこと、を挙げて除草作業を行います。そして作業予定日は12月7日（火）と8日（水）で、13時から16時までとして受け入れを行います。除草対象の丸山は高さ10mくらいの小さな丘で表面積は314m²です。用具はハンマーモアを二台、肩掛け刈払機5台。そして草刈り鎌10本、レーキ5本、作業手袋20足、ヘルメット20個を里山の会で用意することにしています。駐車場は自動車20台分確保できていますので、安心してご参加できます。当日は一応作業手順と用具の使用方法及び里山農園の経過や方針、里山の会の活動方針や実績をお話させていただき、京田辺市の概要も説明できればと考えています

同志社の学生の皆さんが第2の故郷京田辺市の理解に少し役立てればと思っています。作業とは別に地元の皆さんの思いを少しでもご理解を頂ければ嬉しいです。ともに作業したり学びあったりできるチャンスが生まれたことを非常にうれしく思います。これをきっかけによりしくお願いします。

●牛セキ農機からハンマーモア出荷の連絡（11月22日）

里山の会は、木津川希少種生育調査管理業務を国交省から受注し、堤防に生育している絶滅寸前種8種類の植物の保存に取り組んでいます。広さは16000m²で40か所です。広大な面積で個所数も多く、除草作業は手刈りや肩掛け機では追いつかず、動力の力が必要です。草刈り業者のような大型機械ではなく手頃な自走式草刈り機がハンマーモアなのですが、10年以上の使用に耐えてくれたので故障が目立ち始めたので修理となりました。それで同時に刈り取った草の処分の為の集草作業も大仕事なので集草機も購入することになり、12月早々には納品されることになりました。できたら11月29日午前10時から木津川左岸の山城大橋西詰堤防付近で試運転説明会を予定しています。この機械の活用に興味をお持ちの方は、この機会にご参加頂けると幸いです。ぜひお越しください。里山の会のメールに住所氏名を知らせ申し込んでください お待ちしています。

●竹炭焼き二回目の試み

11月20日に二回目の竹炭生産の施行を実施したところ燃焼は確実に行われ、最も経験が必要な場面である散水して火の気を完全に消火するところで、水はジョウロで散水を行いましたが、二回目の経験だからこれくらいで充分消火できたと判断して、波板の蓋をして作業を終わりました。と

ころが翌日点検すると 80%が灰になっていました。完全に消火できていなかったのです。一回目は燃焼が終わってから製品の底まで消火できているか何人もの皆さんがひっくり返して消火の確認を行っていましたが、二回目の試行ではこれくらいで充分だろうとして作業を終わっています。すなわち少しの経験から判断してしまいました。大きな教訓をさせられました。念には念を入れることや炭火は 7 回火が着くことは昔の老人からくどいほど言われ聞かされてきました。再度先人から教えられたことを思い起こして実行したいと思いました。

●中聖牛の取組み

中聖牛の取組で最も困難であった竹蛇籠の製作は 36 本をやり遂げることができました。続いてこの作業のもっとも大事な課題が設置場所への通路の確保ができるかであります。以前 15 km 地点では木津川出張所の所長さんのお骨折りで通路が完成しましたが台風被害で流出して復旧も行っていただいて設置が完成いたしました。しかし 5 回目の今年、里山の会は 4 基分の蛇籠 36 本の製作を行って、設置予定場所への運搬通路が課題になってきましたので要望と協力をお願いしたところ、その予算はないとの木津川出張所所長からの返答でした。非常に困っているところです。二つの用水路を越えなければならないルートなのです。

●道路拡張に伴う里山事務所の取り壊しと借移転先を求める

事務所の解体が目前に迫ってきています。これまで里山の会の活動の中心を支えてきた事務所が消滅する心配が発生しています。事務所内の備品や事務用具書類などと同時に打ち合わせに必要なスペースは最低 5m×5m の 25m²の広さが無ければなりません。適当な事務所として使用させてもらえる所がないだろうかと模索中です。どなたかご提供いただける物件をご紹介頂きたいのです。できるだけ早い提案をお待ちしています。

●11 月 23 日強風で冬の到来を思わせる寒さ厳しい中でカヌー体験を実施

参加申し込み人数 13 家族 大人 17 人 子供 22 人 合計 39 人 藤田カヌースタッフ 4 人 里山の会 7 人で取り組みました。過去 2 回の取組みでこれだけ厳しい条件は初経験でした。前日の 22 日・日曜日は終日降雨で明日は晴れてほしいと願っていましたが夜遅くになると雨が止み、明日は晴れになるだろうと見通せるようになりました。しかし、当日は風が強く気温は思っていたより低く、非常に厳しい条件でした。笠置では最初に太田さんに受付を行っていただきました。今年から参加費の徴収が加わってのことで大変多忙な作業を行っていただきました。藤田カヌーさんは予定の募集人数が増えて 39 人となったので二人乗りを加えて 25 艇の体制になったので、スタッフを 2 倍の人数に急遽増加して対応を頂きました。

時間になり開会挨拶や注意の後、場所を移動してバトルの持ち方や漕艇方法など基本的な教習を受けて木津川の上流に向かって漕ぎだしました。

約 1 時間指導を受けて巨岩や紅葉した「もみじ」を水面から眺められ秋を体いっぱいに感じました。流れが激しいところや緩やかなところなどを経験したので、みんなかなり自由に操ることができるようになりました。2 時間ほどでしたが堪能できました。数人の方は途中、カヌーが転覆することも見られましたが、無事に返ることができました。焚火やストーブの用意があって助かりました。書いていただいた感想文では「楽しかった」や「おもしろかった」また里山の会のお世話に感謝の言葉などとともに来年度も参加したいと書かれていました。解散は 12 時過ぎでした。

気温が少し低かったので体調をくずされていないかと思って翌日、電話をすると全員元気に登校したとのことでした。寒い中お世話いただいたスタッフの皆さん本当にご苦労様でした。